

出席報告

6月18日

(6/18)の出席者数:37名(3)
(内2名ZOOM参加)

6/18出席率:69.81%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員:60名(免除10名)

	2/27	3/5~6/4	6/11
HC出席	27(3)名	休会	休会
MU出席	9(0)名		
修正出席率	67.92%		

東大阪東フューチャーロータリー衛星クラブ 設立総会

2020年6月23日(火)
於:ロータリークラブ事務局/ZOOM

2020年5月28日付、RI理事会にて正式に東大阪東フューチャーロータリー衛星クラブが認可されました。
2020年6月23日(火)19:00より、事務局にて、東大阪東フューチャーロータリー衛星クラブの記念すべき設立総会が開催され、メンバー9名中8名の参加、ならびに東大阪東RCより5名(内1名ZOOM参加)の参加がありました。
東大阪東RC定款ならびに東大阪東フューチャーロータリー衛星クラブ細則の説明を行い、承認されました。



RI2660地区 友愛の広場に掲載
衛星クラブを設立しました

(東大阪東ロータリークラブ)

2020年06月24日(水)

第2660地区の皆様、こんにちは。東大阪東RC会長の大橋です。6月23日に衛星クラブの設立総会を行いました。名前は東大阪東フューチャーロータリー衛星クラブです。10名のメンバーでスタートします。設立総会はクラブの事務局で行い、ズーム参加も受け付けてましたが8名の方が事務局へ来てくれました。細則も承認され、実質的には来年度からスタートします。今の時期を考えて飲食を伴う総会は出来ませんでしたが、皆がロータリーの事を勉強して奉仕活動することを楽しみにしています。第2660地区では三番目の衛星クラブとなります。どうか、よろしくお願いします。

5月18日(月)東大阪市役所でのマスク・フェイスシールドの寄贈式の放送が下記URLにてご覧になれます。

<https://youtu.be/z-oauUg5QBc>

以下のQRコードからもご覧いただけます。



奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる齒車いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー ロータリー



HIGASHI-OSAKA EAST R.C.

国際ロータリー 第2660地区 東大阪東ロータリークラブ

CLUB WEEKLY No.2646



月間テーマ

ロータリー親睦活動月間

例会日:2020年6月25日(木)
(令和2年6月25日)

今日の例会

2020年6月25日

■ 退任挨拶
会長 大橋 秀典 君
幹事 戸田 尊文 君

■ 今日の歌「奉仕の理想」

■ 例会後 定足数例会

来週の例会

■ 7月2日(木)
就任挨拶
会長 斉藤 勝俊 君
幹事 浅浦 哲夫 君
会長エレクト 河村 幸司 君
副会長 藤本 良男 君

■ 例会後 7月度定例理事会

会長退任のご挨拶

大橋会長

皆様、こんにちは。
皆様のお陰を持ちまして、無事に会長の任期を全うすることが出来ました。
思えば、55周年の年度と言うことで会長を仰せつかった訳ですが、コロナウイルス禍で55周年記念例会は延期から最終的には中止となり、その他たくさんの行事も中止に追い込まれ、えらい時に会長になったものだと、気が沈んだ時期もありました。
しかし、55周年記念事業である寺子屋こども食堂は最後の二回こそ中止になりましたが、当初の目的は達成出来たのではと考えます。
この事業に関わった、天野実行委員長をはじめ、たくさんの方々に感謝したいと思います。
また、衛星クラブに関してもたくさんの方々のご協力により、何とか6月23日に最初の例会と設立総会が開催出来ました。
当初、私は地区との行事が被ったりして出席がままならないこともありましたが、須崎議長をはじめ発起人の皆様のご活躍のお陰で、無事に設立できたことは感謝にたえません。
それと、青少年交換では田原会員の息子の陽二郎君が台湾のローガン君と交換して、ローガン君は残念ながら途中で帰国となりましたが、陽二郎君はうちの地区では唯一、最後まで台湾に残りました。
20日に無事に帰国されて良かったです。
その他にも秋の家族会での友が島とか、車椅子ソフトボールへの贈呈、地区大会での登壇、クリスマス家族会や生駒学園の招待旅行等、良い思い出がいっぱい出来ました。
3月からは例会を休会とし、理事会や委員会の運営にも支障が出てきました。
一時はどうなるかと思いましたが、戸田幹事をはじめ、皆様のご協力によりズームによる理事会や委員会を開催できるようになりました。(次ページへつづく)

東大阪東ロータリークラブ

HP: <http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長:大橋 秀典
幹事:戸田 尊文
会報資料担当:島 顕佑

創立:昭和40(1965)年3月4日 例会場:ホテルセイリウ 例会:毎週木曜日 12:30~
事務局:〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリウ302号室
TEL072-985-0189 FAX072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

また、GGの救急車の贈呈式にズームで参加し、タイの人たちとも交流できたのは素晴らしい事だと思いました。あとは東大阪市へマスクとフェイス・シールドを贈呈しました。このフェイス・シールドはタイのヤンナワRCより贈呈されたものであり、まさに今年のテーマ、ロータリーは世界を繋ぐにぴったりの事業だったと思います。その他にも、東輪会によるフェイス・シールドを東大阪市へ贈呈、地区のプロジェクト友愛による、マスクを枚岡福祉会へ贈呈、あとは瓢箪山駅前にての献血活動です。特に献血活動はコロナ禍にも関わらず、タイミング良く緊急事態宣言が明けた後とあって、非常にたくさんの方に来てもらい、71名の採血と言う過去最高の採血が出来たことは非常に嬉しく思います。そして、やっと6月18日に色々な工夫をしてコロナ対策もしっかりして、例会の再開にこぎつけました。そして、本日無事に退任挨拶が出来たことは本当に、感謝しかありません。前半は何とか事業をこなして行きましたが、後半はコロナウイルスの影響で、よろず相談室をはじめ色々な事業が中止となり、個人的な事ですが、地区の委員長予定者としての次年度の事業計画作成などが重なり、本当にどうなることかと思いました。しかし、戸田幹事をはじめ理事会メンバーや各委員長、事務局の岡本さん、泉さん、そして皆様のお陰で無事に後半も新たな奉仕が出来て、会長を全うすることが出来ました。来年は地区の青少年交換委員会の委員長をやります。吉崎ガバナー補佐をはじめ、他の地区出向者と共に東大阪東RCの素晴らしさを地区に伝えて行きたいと思います。本当にありがとうございました。

幹事報告

戸田 幹事

《これからの予定》

- 【1】 本日例会後、定足数例会
 - 【2】 7/2(木)例会後、7月度定例理事会
 - 【3】 7/2(木)新旧会長・幹事歓送迎会 於:オ・セイリュウ18:30～
- 《連絡事項》
- 【1】 本日例会後、定足数例会を開催致しますのでそのままお残り下さい。
 - 【3】 7/2(木)午後6時30分よりオ・セイリュウに於きまして新旧合同会長・幹事歓送迎会を開催致します。ご出席よろしくお願い致します。

幹事退任のご挨拶

戸田 幹事

幹事退任にあたり御挨拶申し上げます。まずは大橋会長一年間お疲れ様でした。今年前半は創立55周年記念例会の準備、衛星クラブの設立準備、そして青少年交換、GGによる国際奉仕、後半は新型コロナウイルスによりロータリーの歴史上初めての事態に陥り、非常に難しい判断の連続でしたが、前向きな大橋会長の御指示のおかげでなんとか乗り切る事ができました。ありがとうございました。そして、理事役員の皆様、会員の皆様、事務局の岡本さん、泉さん、今期1年間御協力そして御指導御鞭撻ありがとうございました。まだロータリー歴の浅い私の幹事により至らない点が多々あったと思います。

御迷惑御心配をおかけした皆様には深くお詫び申し上げます。さまざまな改革、無駄の撤廃を目標にスタートしましたが、道半ばにして今年度を終える事となりました。もっとできたはずという想いと十分にやったという想いが混在しております。次年度以降も新型コロナウイルスの様子を見ながらのロータリー活動になります。このピンチをチャンスに変えられるかは、ロータリアン一人一人の意識次第だと思います。次年度も会計として理事会に残りますので、引き続き皆様の御協力をお願い申し上げます。幹事として一年間貴重な経験をさせて頂き、誠にありがとうございました。

会員コラム出稿御礼

広報委員会
会報・資料担当 島 顕侑

皆さんお疲れ様でした 何処にも行かない、飲みにも行けない結構疲れますね、しかし3ヶ月は過ぎ去ってみると案外早いと思いました、週報も号外なんて初めて、さあこれからも、コロナに罹らぬよう用心、用心、ロータリーを楽しみましょう。想定外のコロナ禍で、「会員コラム」も会員の半数ぐらいの方しか、寄稿していただけませんでした、少し残念です、お忙しい中寄稿頂きました方々に感謝いたします。幸い新年度からは、例会も開かれそうなので、引き続きよろしくお願い致します。

週報の価値として、会員皆様のお声を聞かせて頂く事が、絆、親睦を高めるためにも、意味があると考え、スタートいたしました、やはり皆さんと顔を合わせる事が第一、ロータリーに出席できる有難さを痛感致しました、その上週報で、お声を聞かせて頂く事も、それぞれの方々の、日頃の生活、思いなどを、お互いに知り合う、学ぶなど、の機会となり、コミュニケーションの輪が広がり、ロータリーの意義がさらに高まる、手段の一つではないでしょうか、異業種のそれぞれの方々が相寄り、これからも崇高な職業倫理のもと奉仕の実践を学んでいきたいと思ひます、有難う御座いました。

会員コラム

井上 家昌

コロナ禍の中、久しぶりに例会に出席しました。入口前では、まず手を消毒し、体温を測り、テーブルは8人掛けに4人、マスクを着けながら、田中さん、石田さん、鳥居さんといつもと少し違う雰囲気に着席しました。会が始まると国歌とロータリーソングは、岩島先生のピアノ演奏に発声せず、心の中で歌いました。大橋会長、戸田幹事 天野55周年記念実行委員長の報告を聞きながら、後残すところ、1回の例会となった今、本当にご苦労様でしたという気持ちが湧いてきました。それにしても、この時期、37名(内ズームで出席2名)の会員の皆様の出席は嬉しかったですね。これがロータリーと実感しました。次年度協議会を終え、帰宅後、今日もらってきた「ロータリーの友」5/6号を開いて見ました。いつもの様に俳壇から見ると、島さんの句が目飛び込んできました。“塵あそぶ 光の筋や 日脚伸ぶ”です。コロナ、コロナですっかり季節の移り変わりも感じずに過す日々であって、一瞬気持ちがすーとする様に思えました。もう何ページかをめくると「写真でつづる日本のロータリー100年」の記事がありました。そこに1978年RI国際大会記念(東京)切手が紹介されていました。これを見て、すぐに以前、私の叔母が荷物に貼って送ってくれた消印のある10枚のこの切手を思い出し、机の引き出しから取り出してみました。叔母は現在100歳で、仕事を持つ女性中心の国際的ボランティア組織「パイロットクラブ」大阪クラブの現役メンバーです。叔母の自論「助けてあげるなんて面はゆい。お伝えし、共に考える。その仕事は与えられたものと思いながらやらせていただいてる」を思い出しました。いい一日でした。

